

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 天心会	代表者	飯塚 卓	法人・ 事業所 の特徴	「利用者様が住み慣れたご自宅・地域で『その人らしく』生活できるよう寄り添い支援します」を事業所理念とし、利用者様が自分らしく安心して過ごせるよう、また、介護者様の不安や負担を軽減できるようサービスの提供を行います。 また利用者様、家族様の「思い」を大切に受け止め、利用者様が望む生活が送れるよう、利用者、家族との交流を深め、お一人お一人のご意向を大切にしています。 ご家族とともに医療機関や系列の専門職種との連携をしながら、心身の変化に対応すべく情報共有に努めます。
事業所名	ユースフルまつやま	管理者	大河原 周子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	2人	1人	人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認			概ねよし。	
B. 事業所の しつらえ・環境			概ねよし。	
C. 事業所と地域のかかわり	地区の総会出席など、いただいた機会に、お顔が見える事業所になれるようおじゃまする。	総会ではなく、新春のつどいに出席しご挨拶の機会をいただく。 春と秋の一斉清掃でお顔を合わせさせていただく機会とする。	概ねよし。	○前回から継続して、新春のつどい等の地域の集まりにおじゃまする。お顔が見える事業所になれる。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み	文化祭へ出展する作品作りをお手伝いできることを、ご家族へ提案する。	各利用者それぞれの住む地域への文化祭への手伝いはできなかった。	求められる高齢者一人一人に会議があったりしては地域としてはパンクしてしまう。 地域資源といっても、継続することを考えると、今、形があって安心というものではない。 住み慣れた地域で本人の暮らしを支えることは課題が大きい。	○担当者と一緒にサービス担当者会議に伺う。自宅や地域での生活を知ることから始める。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	事業所の現状を、運営推進会議を通して定期的に知っていただき、利用対象の方をお伝えしていく。	事業所の取組みを解り易く伝えることはできていた。 地域の方の事例検討までには至らず。	概ねよし。	○事業所の現状を、運営推進会議を通して定期的に知っていただき、利用対象の方をお伝えしていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>定期的にマニュアル通りに避難訓練を行うのではなく、万が一の場合に実際に動けるような避難訓練を行う。 ※形だけの応援要請ではなく、実際にかけつけてもらう、等。</p>	<p>今年度はマニュアル通りの避難訓練に終始してしまった。</p>	<p>特になし。</p>	<p>○定期的にマニュアル通りに避難訓練を行うのではなく、万が一の場合に実際に動けるような避難訓練を行う。 ※形だけの応援要請ではなく、実際に駆けつけてもらう、等。</p>
----------------------------	---	-----------------------------------	--------------	--